

令和3年12月23日

保護者 様

新潟市立小須戸小学校
校長 中林 浩子

冬季休業中の指導方針について(お願い)

当校では、自分の「学び」や「生活」を自分で舵取りする子どもを目指し、授業改革と生活指導改革に取り組んでいます。

子どもたちは、従来の教科書やノートを使った学習に加え、学習道具としてタブレットを活用し、自分が学びやすい方法を選択して学ぶことができるようになってきています。前期末に実施した児童アンケートにおいては、「自分で学び方を選択した方がやる気が高まる」と回答した児童が多く見られました。

冬休みの課題も学校から同一課題を出すことはせず、夏休みの取組状況を踏まえ、各学年ごとに子どもが自ら選択した学習課題に取り組むことを基本方針としております。

各学級では、12月から試験的に導入しているAI搭載型家庭学習用アプリ(キュビナ)の活用も含め、子どもが主体的によりよい方法を選択し、家庭生活を送ったり、自分の学習に取り組んだりできるよう子どもたちに指導しております。

年末年始ご家族で過ごす時間を大切にしながら、子どもが自分の生活や学びを舵取りできるよう保護者の皆様のご理解・ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

- 1 冬休み期間 令和3年12月24日(金)～令和4年1月10日(月)18日間
- 2 指導のねらい 自ら考え、よりよい方法を選択して行動できる力を育成する。
- 3 指導の重点

自分の「生活」や自分の「学び」を自分で舵取りする子どもを目指し
小須戸っ子マインド「尊重」「責任」「安全」を守って過ごす

- *「尊重」とは、自分や周りの人やものを大切にすることです。
- *「責任」とは、自分の責任を果たすことです。
- *「安全」とは、自分や人の安全を保つことです。

4 指導の方針

- 方針(1) 自分の「生活」を自分で舵取りする子どもを育てる
～小須戸っ子マインド「尊重」「責任」「安全」に基づいて、
よりよい方法を選択する～
- 方針(2) 自分の「学び」を自分で舵取りする子どもを育てる
～自分のめあてを立てて、計画的に学習する～
- 方針(3) 家族の一員として、家族のために「家の仕事」に継続して取り組む

冬休みの過ごし方 生活編

1 生活について

- ① 学校指定の生活表はありません。
- ② 生活表などが必要な人は、紙の生活表、ロイロノートを用いた学習計画や振り返り、カレンダー等既存のものや自作のもの等を活用して、自分の生活を自分で舵取りしながら過ごします。

2 きまりについて

- ① 小須戸っ子マインドが行動基準です。
- ② 具体的には、後日配付する小須戸っ子「冬休みのやくそく」を守ります。
- ③ 12月に改訂された「小須戸っ子タブレットのきまり ver, 2.0」を守ります。
- ④ 自分の立てためあてを守ります。

3 冬休みの過ごし方の報告について

- ① ロイロノートで担任に学習や生活の様子、家の仕事の様子等を伝えます。ご家庭にWi-Fi環境が整っていない場合は、担任から電話を掛けてお子さんに様子を聞かせていただきます。詳細については、学年だよりをご確認ください。
*学校として、担任が年賀状を送る等はしない方針をとっております。

冬休みの過ごし方 学習編

1 課題について

- ① 自分で立てた学習計画に沿って家庭学習に取り組みます。
- ② 自分の間違いに自分で気付いたり、なぜ違うのか考えたりすることができるように、丸付けや間違い直しまで子どもが自分で行います。

2 タブレットの使用について

- ① タブレットを学習のために積極的に活用します。
- ② キュビナやドリルパークなどのアプリを活用し、習ったことを復習したり、さらに学習を進めたりします。
- ③ タブレットは、子どもが使用する学習道具ですが、お子さんと一緒にしたら子どもが使用するアプリの学習履歴等を確認することができます。冬休みのお時間のある時に、タブレットに蓄積しているお子さんの学習軌跡について親子でご覧ください。

冬休みの過ごし方 家の仕事編

1 家の手伝いについて

- ① 家の人と相談して、自分のする家の仕事を決めます。
*子どもがしたいことをするというのではなく、家族の一員として家族のために貢献する経験として、お子さんができる家の仕事を任せていただけるとありがたいです。

